

# 令和元年度 友愛会事業報告

## 友愛会本部

### 1. 活動目標

\*法令を遵守し、信頼され、透明性のある、適切な法人運営に努める。

\*職員が働きやすい職場づくり、生活しやすい施設づくり。

### 2. 実施項目

#### 1) 理事会、評議員会、監査

①責任ある事業執行、明確な経営管理

②重要な事業や運営について検討・協議、情報交換

##### ・理事会

- |     |        |   |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 5月28日  | 平成30年度福祉事業第3次補正予算の承認について<br>平成30年度事業報告及び決算監査報告の承認について<br>評議員退任に伴う後任評議員の推薦について<br>定時評議員会開催日及び議事に付すべき事項について                                 |
| 第2回 | 6月4日   | 理事、監事の任期満了に伴う選任について   |
| 第3回 | 6月19日  | 理事長の選任について  |
| 第4回 | 7月29日  | 表彰規程の変更について<br>平成30年度決算関係書類の承認について<br>愛寿園施設長の承認について   |
| 第5回 | 11月18日 | 就業規則の変更及びインターネットバンキング取扱規程<br>の制定の承認について<br>評議員退任に伴う後任評議員の推薦について   |
| 第6回 | 3月11日  | 令和元年度福祉事業第1次補正予算及び公益事業<br>第1次補正予算の承認について<br>令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算の承認について<br>居宅介護支援事業所愛寿園の廃止承認について<br>定款変更の承認について<br>評議員会開催日及び議事に付すべき事項について |

##### ・理事協議会

- |     |       |                    |
|-----|-------|--------------------|
| 第1回 | 7月10日 | 今後の運営について          |
| 第2回 | 9月19日 | 就業規則等変更協議、調停事項について |

第3回 12月6日 状況報告、弁護士協議について

第4回 2月3日 組織の人員不足について

・評議員会

第1回 6月19日 平成30年度福祉事業第3次補正予算の承認

平成30年度事業報告及び決算監査の承認

理事、監事の選任について

第2回 3月25日 令和1年度福祉事業第1次補正予算及び公益事業

第1次補正予算の承認について

令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算の承認について

居宅介護支援事業所愛寿園の廃止承認について

定款変更の承認について

・監査

第1回 5月14・16日 平成30年度事業及び決算監査

第2回 10月23・24日 令和1年度上半期事業及び中間決算監査

③役員研修会の開催

今年度は開催なし

④法人への県監査 11月1日

⑤評議員選任委員会 6月6日・12月17日

2) 経営体制の安定化

①稼働率を上げれる事業所は上げ、加算をできるだけ取り友愛会全体として経営の安定に努める

愛寿園では、稼働率の低下があり、収入の低下がみられた。

人員不足から加算ができなかったり、減算対象となった。入所希望に応じて入所者の確保が必要です。

②友愛会として、合理化、一本化を図る。

現状以上には進みませんでした。

③広報・啓発活動（情報公開・広報誌・各学校訪問等）

「愛寿園だより」を5月・1月の2回発行しました。

インターネット上への情報公開、学校訪問、紹介パンフレット作成配布を行いました。

④地域とのつながりを持てる事業を行う。

愛寿園では行事への地域の方の参加の呼びかけを行いました。

### 3) 人材の育成

#### ①人事交流の実施

人事異動はありませんでしたが、退職者が8名、新規採用者2名でした。

#### ②職員研修 各職種で随時実施

#### ③合同職員会の開催（情報の共有、意識統一）

1回の職員会の実施となりました。

#### ④資格取得の推進

管理栄養士、准看護師

#### ⑤人材確保（役職員全員で取り組む）

就職フェア参加（出雲・雲南）

ジョブフェア参加（飯南高校）

ホームページにての求人

地域振興課との情報共有（働きかけ）

### 4) 飯南町福祉協議会の活動への協力

会議、研修会、等の実施、参加協力を行いました。

インフルエンザ予防のため不織布マスクの配布がありました。

### 5) 飯南町包括推進局の活動への協力

研修会・交流会 等の実施、参加協力を行いました。

### 6) 事故、苦情等への迅速適切な対応

各施設事業所より報告

### 7) 衛生管理の徹底による、各種感染症予防

両施設ともにインフルエンザの感染があり、ご利用者様の発症がありましたが、少人数の発症で食い止めることが出来ました。

全国的に新型コロナウイルス感染症の発生があり、幸いに施設内では発生はありませんでしたが発生予防、感染予防に努めてきました。

### 8) 友愛調理センターの給食提供方法の見直しでは、調理員不足により給食提供システム

（ナリコマシステム）を導入して対応しました。

### 9) 居宅介護支援事業所の廃止

# 令和元年度

# 愛寿園事業報告

特別養護老人ホーム 愛寿園  
短期入所生活介護事業所 愛寿園  
頓原デイサービスセンター  
飯南病院調理受託事業所

## 1. 運営方針

理念を念頭に置き、「社会人として立派な人材の育成」「利用者、家族様とともに一緒になって歩む」そして「施設だからできないことがないよう」職員一同、力をあわせて、職員も利用者様も居心地のいい施設を作る。

一人一人の生活の延長上に、施設があるという考えのもと、在宅支援や在宅復帰も視野に入れた、施設運営を行いう。

## 2. 行動目標

\*明るい笑顔と、誠実な対応

\*少数精鋭を目指す

## 3. 実施項目

### <利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	稼働率
施設	64.2	61.2	60.4	60.6	58.6	56.0	56.3	57.0	55.8	56.3	59.4	58.0	58.7	73%
短期	5.2	6.1	7.2	6.7	7.6	5.5	5.9	7.3	7.2	6.8	5.9	5.2	6.4	71%
通所	14.8	14.1	14.9	15.1	14.9	14.2	14.2	14.3	14.5	13.6	12.3	11.9	14.1	78%

入所 13名

退所 17名（内 看取り9名）

- ・施設の在籍数が60名程度となり、入院もあり、平均利用者数は昨年を下回りました。
- ・人員不足等による減算等

管理栄養士の産休による加算減（栄養マネジメント体制）

看護師不足（退職）による減算

- ・デイサービス監査 11月27日

### 1) 「望まれる生活」の提供に努める

①多職種協働でご利用者にとっての「質」にこだわった計画・実施・評価を行う

職員個々の資質を上げることが、ケア内容の向上に繋がるので、人材（特に新入職員とその指導者）の育成に引き続き取り組みました。

また、ケア計画の立案・実施・評価への取り組みも行ってきました。

②常に業務の見直し改善をはかり、時間と人の無駄使いを省く

企画会議 → 毎月

各部署会議、各委員会会議、各号棟会、リーダー会 → 定例

全体の流れの中での、各職種の仕事内容を考え、常に「改善」を念頭に時間・配置人数等の検討を各部署で行いました。

③感染、事故等「予防」に力を入れ、安全な生活を提供する

感染：12月 インフルエンザ発生 感染者1名

事故：報告件数 2件

苦情：なし

④頓原ディサービスの特徴を生かした事業に力を入れる

遠足の実施

・キララ多岐 5月

中途退職者もあり、遠出をすることが難しいご利用者様が多い状態の中、遠足等計画通り実施できなかった。

2) 職員の資質の向上を図り、「必要とされる人材」づくりを行う

①県内外の研修会への参加

施設外研修 3件（県内）

②定期的な園内研修会の開催

- ・事故防止研修会
- ・身体拘束廃止研修会
- ・感染対策研修会
- ・排泄勉強会
- ・褥瘡予防研修会
- ・摂食・嚥下勉強会

3) 地域とのつながり・情報発信

①総合事業としての通所事業

介護予防事業所 にじいろ 利用者数(定員15名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
7	7.5	6.8	8.2	8	7.4	7.5	7.5	7.8	8.3	8.75	8	92.75	7.7

・毎週1回実施し、包括や公民館職員の方とも協力し事業を行いました。

・体操と買い物は必ず実施し、その他の事業は、参加者の意見を聞きながら計画を作成し実施しました。

4月：花見（三刀屋・木次） 5月：ボタン園、一福で食事会

6月：栄養指導 7月：ミニ遠足（佐田）カサブランカ見学

8月：マジックショー 9月：リンゴ園、赤名道の駅で食事会

3月：無声映画 小学生弁士 澤田四幸

- ・参加者も徐々に増え、楽しみながら介護予防と生活支援ができる事業ができました。現在、頓原地域のみですが、できれば他の地域での開催が検討課題
- ・介護予防の事業を行うことで、少しでも元気に在宅で過ごせる期間が長くなるよう今後も取り組んでいく。

②メイン行事として、「夏祭り」の実施 8月2日

地域・ご家族・職員家族 20名

花火大会とともに、たこ焼き、射的等の模擬店も行い、職員が工夫を凝らし来場者もご利用者様も楽しめる行事となりました。

③「かぞくのつどい」の実施（利用者ご家族様対象）

5月21日 ご家族様2名出席

④その他

<実習生の受け入れ>

月	日	内 容	人 数
10	7～11	島根総合福祉専門学校	1名
1	20～	出雲医療福祉専門学校	1名
2	21～	出雲医療福祉専門学校	1名
2	3～28	島根リハビリテーション学院	1名

<慰問>

月	日	内 容	人 数
10	10	頓原小学校	10名
10	17	桜が台保育所	12名
12	19	民生児童委員・西正寺仏婦	10名
12	20	老人会友愛訪問、ライオンズクラブ	6名

4) 職員の講師等派遣

内 容	依頼者	人 数
包括推進局介護福祉部会研修会	介護福祉部会	1名
ジョブフェア	飯南高校	2名

5) 各種会議の開催

①定例会議

- ・企画会議（月1回）
- ・入所検討委員会（月1回）
- ・サービス調整会議（月1回）
- ・通所運営推進会議（年2回）
- ・第三者委員会（年2回）

②その他会議

- ・各部署会議（各部署会、号棟会、リーダー会 等）
- ・各種委員会会議

③家族会 4月14日、9月15日 開催

6) その他

①飯南病院調理場について

退職者等があり、職員は休暇が取れない状況の中、福祉職場からの応援体制や異動により対応してきた。また、職員募集については病院にも協力いただき現在では体制が整い運営ができています。

②居宅介護事業所廃止について

職員確保ができず、休止から廃止するに至った。

# 令和元年度事業報告

養護老人ホーム 琴引の里  
 特定施設入居者生活介護事業所 琴引の里  
 訪問介護支援事業所 琴引の里

## ・入所者利用実績

施設入所 定員 78 名  
 短期入所 定員 2 名

	年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設	R1	人	75.87	74.42	74.47	73.16	73.74	72.50	74.03	76.77	77.74	78.00	76.93	75.26	75.23
	30	数	76.23	73.45	74.00	74.13	73.19	73.63	72.00	74.17	75.00	76.74	76.00	73.94	74.36
	差														0.87
短期	R1	人	0.00	0.00	0.57	2.00	1.94	1.00	1.19	1.00	0.29	1.00	1.00	0.00	0.83
	30	数	0.00	0.55	1.00	1.00	1.00	1.00	1.13	0.70	1.94	0.77	1.00	1.39	0.96
	差														-0.13

- 施設入所者は、年間平均で 75.23 名となりました。22 名の方が入所され、退所については 17 名（死亡退所者 11 名、他施設等が 6 名）で、3 月末現在においては、合計 76 名（男性 24 名、女性 52 名）で平均年齢 87.8 歳となりました。
- 短期入所者は、2 名の定員に対し年間平均で 0.83 名の利用者となりました。
- 入所者の高齢化に伴い、その方々の抱える持病も多く、介護認定者も増加傾向にあります。見守り・支援から介護支援への比重が増大しています。介護に対応する居室に限られるなどの状況もあり、重度化への対応が急がれます。

## 4. 要介護認定者

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
02年3月	3	4	4	4	4	8	5	32
31年3月	2	2	4	1	5	7	10	31

## 5. 令和元年度事業活動報告

（事業計画、運営方針と行動目標）

多様な生活課題を抱え在宅生活が困難になった方々を受入、その方々を尊重し、安らぎとぬくもりある、誰もが安心して生活できる場の提供を行動目標として施設運営を行いました。

### ① 近隣の市町村等との緊密な連携

各自治体における入所判定委員会の結果を受け、本人面接を経て入所受入を行い、日常生活においてはその方が必要とする支援・援助を行い、必要に応じて医療や介護に繋げていきました。また、特別養護老人ホームでの生活がふさわしい方については、

他施設への移行がスムーズになるよう対処しました。

② 入所者への処遇

入所後に樹立する処遇計画とその後の変更について毎月定例曜日に処遇会議を開催し、プライバシーの尊重とその人らしい生活支援を行いました。

③ 身元引受人(家族等)さんへの適切な対応

入所者の生活状況や入退院などの情報を速やかにお知らせすると共に、施設での看取りを希望された家族に対しては細やかな情報提供をしております。

④ 職員の取組

日々の申し送りや各部署での会議では職務に対する心構えや、実際の体験を共有しより良いサービス提供を心がけました。

⑤ 生活実感(生きがい)の提供

買い物ツアーや花見、小旅行を実施しました。敬老会等の行事を開催したり、毎月のエルシーからの出店、喫茶の日を設けたりしました。しかし以前は行っていた小運動会や保育所園児との交流は出来ませんでした。

⑥ 食事について

年度当初において従来の施設での完全調理からクックチル方式に変更しました。嗜好調査や老人会役員会などでの意見をまとめ、食事の提供業者との協議を毎月行って、意見が反映されるように努めています。

⑦ 職員研修(職員のレベルアップを図る)

定期開催が必要な施設内研修の内容や参加者を増やす工夫が必要であり、検討委員会等の設置により見直しを図りたい。

⑧ 環境の整備

花壇の整備や法面等の除草を行い、生活環境に配慮しました。老朽化する設備についてはその都度の修理・交換でありましたが、大規模な修繕等は計画的におこなう必要があります。

⑨ 介護保険への対応

介護の比重が大きい方に対しては、特定施設入居者生活介護により適切な介護サービス提供を行いました。

⑩ 各種会議への参加

飯南町主催の会議・研修会等へ積極的な参加をしました。

令和元年度事業活動報告・・・(別紙1)

令和元年度施設内・外研修報告・・・(別紙2)

6. 令和元年度指導監査について

令和元年10月3日、養護老人ホーム琴引の里に対する実地指導監査を受験。

指摘事項

- ・研修(事故発生防止、感染症対策、身体拘束適正化)について計画的・定期的を開催し、実施内容の記録を残すこと。
- ・預かり金規程に基づく適正な事務処理を行うこと。
- ・特定施設入居者生活介護利用契約書の内容整理を行うこと。
- ・重要事項説明書等の適切な掲示を行うこと。





# 令和元年度 施設内・外 研修報告

別紙2

月 日	研 修 名	摘 要
4月22日	虐待防止研修会（身体拘束DVD視聴と意見交換）	6名
4月23～24日	飯南高校生福祉体験学習	4名
4月23日	平成31年度感染症対策委員会	10名
5月23日	飯南町介護福祉部会	2名
5月31日	飯南病院感染対策勉強会	1名
5月31日	雲南地域介護サービス事業管理者連絡会研修会「認知症の方の関わり方」	1名
6月1日	飯南病院感染対策勉強会 伝達	10名
6月8日	平成31年度飯南町自立支援型ケア研修会	1名
6月11日	雲南地区栄養士総会及び研修会「地域包括ケア体制の構築のための食形態の統一について」	1名
7月12日	県老協総会及び研修会①「処遇改善加算と消費増税に伴う報酬改定について」②「今後の社会保障制度の行方～しまねの将来像～」	1名
7月19日	令和元年度第一回飯南町福祉施設協議会総会	1名
7月23日	福祉施設における防犯対策	3名
8月5日	介護職員特定処遇改善加算にかかる説明会	1名
8月8日	感染症対策委員会（面会対応・食中毒対応）	7名
8月29日	社会福祉法人経営管理研修会	1名
9月4日	虐待防止研修会（DVD視聴と意見交換）	10名
9月24日	友愛会職員会	18名
10月17日	友愛調理センター合同研修会	7名
11月15日	感染症対策委員会（インフルエンザ対策）	7名
11月19日	源泉徴収事務説明会	1名
11/27～28	雲南地域福祉施設協議会施設研修	1名
11月30日	飯南町地域ケアフォーラム（研究発表／ワークショップ）	1名
12月2日	感染対策委員会	7名
12月12日	雲南地区福祉施設新任職員合同研修会「身につけておきたいコミュニケーション講座」	1名
12月19日	飯南町福祉施設協議会	1名
12月25日	雲南地域介護支援専門員協会研修会「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインについて」	1名
2月5日	助成金活用説明会	1名
2月19日	飯南町福祉施設協議会	1名
2月20日	介護委員会	7名
2月26日	感染対策委員会（新型コロナウイルス対策）	6名

毎月 第3水曜日	飯南町高齢者等サービス調整会議 （自立支援及び適正給付に向けた事例検討会／介護支援専門員連絡会）	1名
	飯南町福祉施設協議会会議	1名
	飯南町地域包括ケア推進局介護・福祉部会会議	2名